

# サークル FIELLE

週末は観音マリーナで練習に励んでいる



## 操縦の技磨き全国狙う

広島工業大(広島市佐伯区)のヨット部は、本学が創立された1963年に発足した歴史ある部です。全日本学生ヨット大会への出場を目標にするとともに、「人材育成・組織づくり」を目的に掲げて活

動しています。部員数の減少が原因で休部していた時期もありましたが4年前に再開。昨年、再開後初めて団体戦に出場し、全日本学生ヨット大会中国水域予選では中国6チーム中5位でした。また、中国水域の学生のレベルアップを目的とした大会「セイルヒロシマ2019」では、個人戦に2艇が出場しました。

現在、部員は12人。大学からヨットを始めたメンバーばかりです。平日はヨットのメンテナンスをし、週末に観音マリーナ(西区)で、他大学と合同で練習しています。年に数回、操縦方法や大会ルールなどを学ぶ講習も受けています。

部員は、監督や上級生からの指導をもとに改善点を見つけ、操縦を通して技術を習得していきます。上半身を大きく傾けて体重を移動し、体の大きさの何倍もある船体を操縦します。同時に、風の向きを読んでセイルを調整しながら速いタイムで走れるようコース取りをします。本年度は、部全体の盛り上げを継続しながらさらに部員を増やし、全国大会を見据えた組織づくりをしています。



セイルヒロシマの個人戦に出場した部員 (2019年5月)



部長の建築デザイン学科3年・宇川昂辰さん(20) 全国大会入賞を目指して

練習しています。チーム力を付ける必要があるため、学年に関係なく意見を出し合うことを意識しています。また、部長や監督、卒業生からのサポートを受け、技術や艇の性能向上を図っています。

